

各 位

富山県産業技術研究開発センター

所長 高林外広

ものづくり評価分析技術研究会の開催案内

時下、ますますご清祥のこととお慶び申しあげます。

日頃は、当センターの業務にご理解とご協力を賜り、お礼申しあげます。

さてこのたび、下記概要のとおり研究会を開催します。本研究会は、製造現場における品質管理技術向上および企業技術者的人材育成を目的としております。工業製品の材料分析(SEMEDS,EPMA,XRF)及び電子材料評価に欠かせない最表面の分析(AES,XPS)の特徴を理解し、また、それぞれにおいて得られる情報を理解するための知識(検出深さ、検出下限など)の習得を目指します。計 3 回各 2 時間程度の実習形式の研究会です。

ご多用の折とは存じますが、是非ご参加頂きますようお願い申しあげます。

<研究会概要>

- ・内 容 分析設備および前処理の講習と実習(3回)、実機で標準試料や試作品を分析
- ・会 場 富山県産業技術研究開発センター機械電子研究所(富山市高田 383 番地)
- ・募集人数 各回 10 名程度
- ・参 加 費 無料
- ・申込方法 12 月 15 日(月)までに、別紙申込書にご記入の上、FAX または E-mail にてお申し込みください。
申込フォーム <https://shinsei.pref.toyama.lg.jp/DID7hd76> からも申込いただけます。
- ・申し込み・問い合わせ先 富山県産業技術研究開発センター 機械電子研究所
担当：角田 TEL 076-433-5466 FAX 076-433-5472 E-mail: kikakuk@itc.pref.toyama.jp

第 1 回 10 月 31 日(金)終了 使用設備 : SEM、EPMA、XRF

品質管理や不良解析において、最初に使用される SEMEDS と電子線マイクロアナライザー(EPMA)による分析の実習を実施します。EDS と EPMA の違いを理解するため、EDS では検出しにくい元素について EPMA や XRF で特定する方法を実習します。

分析初心者や経験の少ない技術者を対象とした基本的な講習です。

第 2 回 11 月 21 日(金) 使用設備 : EPMA、AES、オスミウムコーティング

EPMA と最表面の分析装置オージェ電子分光分析(AES)による分析の違いを解説します。同一試料を複数の装置(EPMA,AES)で測定し、得られた結果を比較することで最表面分析の特徴を理解します。また、前処理としてオスミウムコーティングを使用した表面分析の効果確認も実施予定。

第 1 回の参加者、もしくは元素分析の経験があるかたを対象とした講習です。

第 3 回 12 月 18 日(木) 使用設備 : EPMA、XPS、斜め切削加工装置

斜め切削加工装置(試料表面をミクロン単位で切削)を用いて、材料表面の深さ方向の元素分析を、EPMA などの表面分析装置で実施します。通常の機械研磨加工による断面観察や Ar エッティングによる深さ方向分析との違いを確認します。主に斜め切削加工装置の実習を予定しています。

※第 4 回 1 月開催予定

参加申込書

富山県産業技術研究開発センター

令和7年度研究会

「ものづくり評価分析技術研究会」



申し込みフォーム

日 時：(第3回)令和7年12月18日(木)13:00～14:30

会 場：富山県産業技術研究開発センター 機械電子研究所 (富山市高田383)

送信先 E-mail : kikakuk@itc.pref.toyama.jp 担当：角田
F A X : 076-433-5472

(企業・団体情報)

企業名／団体名	住所
	TEL: FAX:
	E-MAIL :

●企業・団体情報を下記の目的で利用してよい場合、同意欄へチェックをお願いします。

<利用目的>

- ①技術講習会・研究会・研修・研究成果発表会の案内
 - ②産業技術研究開発センターからのメールマガジン（以下メルマガ）配信
- 企業・団体情報を上記で取り扱うことに同意します。

(参加者情報)

所属・役職	氏名	メールアドレス	参加希望
		<input type="checkbox"/> メルマガ配信に同意します。	第3回
		<input type="checkbox"/> メルマガ配信に同意します。	第3回

●参加者情報を産業技術研究開発センターからのメルマガ配信の目的で利用してよい場合、同意欄へチェックをお願いします。（以前に登録された方につきましても、お手数ですがチェックをお願いします。）

●参加希望の回を○で囲んでください。

<備考>

本申込書に記載された個人情報は、受講者の確認や、やむを得ない事情により、日時、会場の変更があった場合にその連絡を行うために利用します。